

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年9月5日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	掛川市	代表者名	掛川市長 松井三郎
担当者部署	教育部 図書館	連絡先電話番号	0537-72-1143
担当者役職		担当者氏名	
住所	436-0079 静岡県掛川市1148-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	行政職員では思いつかない大胆な発想で、本市におけるデジタルアーカイブの構築に向けてご教示いただいた。今回は、デジタルアーカイブ構築に向けての前段階として、世界に向けて画像データを発信する実証実験を行うことができた。
アドバイザーへの要望事項	構築に向けて引き続き助言をいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月28日	13時10分	15時40分		150
3-2. 派遣場所	会場名	掛川市役所	最寄駅	JR掛川駅	
	所在地	掛川市長谷1丁目1番地の1			
	最寄駅からの交通手段	自動車(送迎)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	9人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・本市におけるデジタルアーカイブ構築に係る組織と経費の再検討。・市民協働による運営方法等について検討。・デジタル化の技術や形式、品質、メタデータ等の設定内容。・情報システムの構築方法。・市民などの協力のあり方、予算、財源、今後の維持管理方法。・データアクセスポリシー、権利処理等のあり方。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・掛川市としてどのようにデジタルアーカイブを構築すべきか、その方向性を明確にして、進捗を図る。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	デジタルアーカイブ構築に向けての前段階の実証実験として、ウィキメディアコモンズに画像データをアップした。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	実証実験を始めたことにより、構築の方向を大きく転換させ、構築に向けて前進させることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 ウィキメディアコモンズに画像データをアップ(CCOで)した。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	市民協働体制の構築	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 職員が直接会議に参加して、意見聴取できるため、アンケートは行わなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

